

「幼小中連携教育を地域とともに、そして街づくり」 ～交流～

奈良県奈良市

活動名

富雄第三中学校区地域教育協議会

関係する学校

富雄第三小中学校・富雄第三幼稚園

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の参加参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター	子供の参加参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携	
コミュニティスクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

本校区の地域教育協議会は、小中一貫校として開校した平成23年に組織し、本年が5年目となる。初年度は、協議会発足の知らせを「奈良東塚山だより」（自治連合会発行）に掲載し、活動目的・活動内容及び予算などの報告とともに、ボランティア登録や地域コーディネーターの募集を実施。この広報活動は以降も継続。校舎増改築に伴う物品の移動作業に地域の多くの方々が協力をしていく中で、地域教育協議会の活動が始まった。平成24年度には、様々な特技、資格を持った方々が学校支援ボランティアに登録し、会計担当者等役割分担ができるようになったことで事業の円滑化が進む。また、校区内の特別支援学校の支援にも参加、地域の教育力向上に取り組むようになる。平成25年度には、オーストラリア・キャンベラ市のハリソン校との交流支援がスタート。ハリソン校の職員が来校するに当たり、歓迎事業の企画、準備、運営において学校と地域の連携・協働が充実。平成26年度には、ハリソン校の生徒が来校。ホームステイ実施、歓迎事業実施など、交流事業を継続するために学校と地域が一体となって取り組んだ。その他、幼稚園では、文化鑑賞会として、地域住民による文楽（人形劇）公演、小学校ではボランティアによる家庭科の実技補助や登下校の見守り、中学校では部活動の見回り巡回を行うなど、子供たち一人一人に目が行き届く学校支援を行っている。また、組織の運営面においては、コーディネーターの発掘・育成のため大学生対象にコーディネーター体験ができるイベントの企画、学校支援情報紙や支援活動カレンダーの地域での掲示等を行い、本事業への理解と協力を今まで以上に広範囲に広げ、地域ぐるみで子育て、街づくりを推進している。

特徴

【特徴的な活動内容】

次の3つを柱として取り組んだ。①「夏休み子どもプロジェクト」②「連続講座」③「交流校歓迎事業」①は、「交流」をテーマに海外からの留学生等による文化交流「世界の国からコンニチハ!」、地域の方とともに製作する「木工工作にチャレンジ」、子供たちが植えたゴーヤを使った調理実習と沖縄出身教員による沖縄文化学習「ゴーヤ料理にチャレンジ」、②は、地域の役割や地域の大人と子供をテーマにグループワークと意見交換、③は海外交流校の教員・生徒の歓迎ミーティング、市内観光、ホストファミリーとの交流等。その他、長期休暇中の中学生への学習支援をボランティアにより行う自習教室や、校区内にある特別支援学校高等部の就労訓練の手伝いや環境整備、特別支援学校を会場とした文化交流会への出展による自己資金づくり等の活動を行った。

【実施に当たっての工夫】

「連続講座」では、奈良女子大学教授による地域の課題解決に向けた連続研修を開催。幼稚園では、千里金蘭大学教授の指導の下、園児が親しみやすい「文楽」の公演。小中学校では、読書活動推進のため貸出し補助や本の補修、手作り本立て作り。環境整備では、幼小中、特別支援学校が地域にある「みんなの里山」に花を植えるなど。学校支援は、学校からの依頼以外に地域からの提案として支援依頼書と提案書で計画実行。ボランティア募集は地域全体とPTA保護者向けのチラシを作成し配布、募集。会計事務はコーディネーターが担当し、効率化のため作成した会計ソフトを本中学校区以外に提供し奈良市地域全体に貢献している。

事業を実施して

学校と地域の話し合いの場も定例化することで結びつきを強くし、役割分担することで細かな動き、活発な活動ができています。そして地域と学校が「めざす子ども像」を共有し、地域の教育力を生かしながら課題の整理、事業の改善、次年度の計画に反映していくこともできている。また、次のような交流を強く意識した活動を行ってきた。○「夏休み子どもプロジェクト」において外国文化を知り、体験する異文化交流 ○奈良市の姉妹都市キャンベラの小中学校の生徒や先生を迎え、学校と地域の協働による歓迎・交流 ○中学生が地域の大人と一緒に進める防災訓練の企画・運営など、これらの取組の中で地域の方々が生徒たちの成長を見守り、子供の生きる力を育ててきた。また、ボランティアと子供たちがふれあう場も多くなり、子供たちから積極的に挨拶が交わされるようになってきている。防災訓練では、中学生が自分たちができることや役割を自覚した行動ができるようになってきている。小学生に対し、目指すべきモデルとしての姿を示すことができ、地域からは、中学生に対する期待が高まったと思う。

その他

地域と学校が「めざす子ども像」を共有し、多様な知識・経験をもつ地域の大人と子供たちをつなげることで、地域の教育力の向上、地域のきずなづくり、地域の活性化が進むよう努力を継続してきた。「幼小中連携教育を地域とともに、そして街づくり～交流～」を活動のテーマとし、これらの活動に取り組む一人一人が自己有用感をもち、互いの学びにつながるよう、新しいことにチャレンジしていきたい。「地域の中で子供は育つ」ことを地域の大人たちが心にとどめ、地域を大切にしながら強く生きることでできる力が子供たちに備わるよう今後も地域、学校等が協力して活動を進めたい。



文楽公演



連続講座